図34．科学技術のインパクト実現までの過程における公的研究開発･支援の寄与

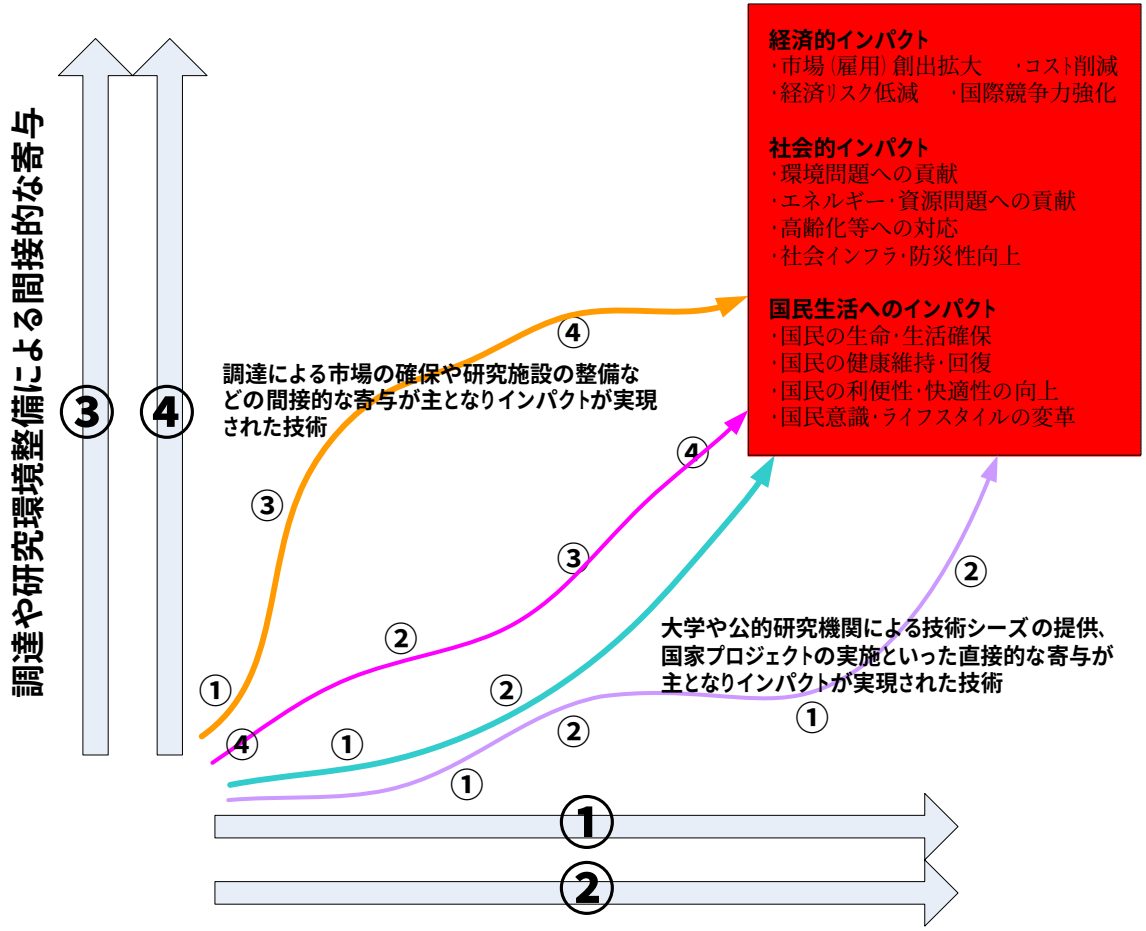
●技術の発展過程における公的研究開発･支援の寄与として、以下の4つが特徴的に見いだされた。
●技術のインパクト実現までの過程においては、研究開発への投資のような直接的な寄与に加えて、調達や研究基盤整備といった間接的な寄与も公的部門の役割として重要。

①基礎研究に関する公的研究開発･支援
- ○ 大学や公的研究機関における基礎研究の継続･蓄積
- ○ 大学や公的研究機関での現象･原理の発見
- ○ 大学や公的研究機関での技術の発明

②技術の発展･流れに合わせた公的研究開発･支援
- ○ 産学官連携によるナショナルプロジェクト
- ○ 重点課題等への集中投資
- ○ 実証試験への資金提供
- ○ 民間で実施される応用研究や実用化研究への資金提供

③基盤技術や技術インフラに関する公的研究開発･支援
- ○ 研究施設の整備　○ データ整備･データベース構築
- ○ 標準化の支援、策定　○ 基盤技術の開発
- ○ 評価試験･安全性評価の実施　○ 評価システムの構築

④政策連携によるインパクト実現の促進
- ○ 規制の導入　○ 規制緩和
- ○ 調達による市場の確保
- ○ 補助金による初期市場の形成
- ○ 省庁連携



注：それぞれの曲線はインパクト実現過程のイメージを表す。